

YUME-KUSAMA KURA

演出

浜畑賢吉
(俳優・大阪芸大教授)

制作上演実行委員長

小野友道

制作統括

大江捷也

演出補

堀田 清

夏目金之助

浜畑賢吉

画工寒月

桑路ススム

那美

邑來みほ

夏目きよ

山本真由美

五高生寺田

徳富敬隆

五高生小宮

山田 聖

五高生坂元

玉垣哲朗

大徹和尚

谷川信雄

床屋三平

石川雅道

小坊主了念

吉丸和孝

馬子源兵衛

西山広成

茶屋の屋尾

井芹薫子

お作

重岡聖子

おとよ

飯富美雪

夢の中の女

高濱流光華々

作曲・演奏

今藤珠美



Hando Kazutoshi 『夏目金之助ときよ』



脚本

半藤一利

はんどう・かずとし



峠の茶屋の
花吹雪

新宿公演

新宿区四谷区民ホール
2015年8月29日 [土]

●昼公演／開演14時～
●夜公演／開演18時～

熊本公演

市民会館崇城大学ホール
2015年9月2日 [水]

●開演18時30分～

【主 催】漱石来熊120年イベント「夢・草枕」制作上演委員会

【入場料】3,000円 (新宿・熊本公演とも、税込み) Pコード: 445113



【共 催】新宿区・熊本市・熊本市文化事業協会・熊本日日新聞社・朝日新聞社・熊本近代文学館友の会・熊本芸術文化学術振興市民財団

【後 援】熊本県・熊本県文化協会・熊本市美術文化振興財団・玉名市・阿蘇市・くまもと漱石倶楽部・NHK 熊本放送局・RKK・TKU・KKT・KAB・FMK・FM791

【協 賛】夏目漱石記念年100人委員会

○助成金：公益信託くまもと21ファンド・熊日文化スポーツ基金・熊本放送文化振興財団・一般財団法人熊本公徳会

○特別協賛：(株)お菓子の香梅、(一財)化学及血清療法研究所

○お問い合わせ：熊日生涯学習プラザ TEL 096-327-3125 mail : jplaza@kumanichi-jb.co.jp

漱石記念年イベント(2016年来熊120年、没後100年/2017年生誕150年)

第57回 熊本県芸術文化祭参加

山路を登りながら、こう考えた。
情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ…。
峠を越え、桃源郷を思われる那古井の里へ旅して来た画工は、
不思議な魅力を持つ宿の若女将那美に出会う。

五高生や妻きよと湯治に来た夏目金之助の
目に映つたものは…。

新宿と熊本をつなぐ 舞台公演 第4弾！

熊本と新宿にゆかりの作家に夏目漱石と小泉八雲がいます。いずれも熊本で英語教師として数年過ごし、新宿でその生涯を終えました。この縁をもとにこれまで熊本で創作劇をつくり、新宿でも公演してきました。

『青柳』（平川祐弘脚本、小泉八雲『怪談』から）、『庭に一本なつの金ちゃん』（出久根達郎脚本）、『新宿くまもと物語 わが青春のムーラン・ルージュ』（井上智重原案、宮崎真由美脚本）です。そして、第4弾として半藤一利脚本『夢・草枕 峠の茶屋の花吹雪』を十九年ぶりに装いも新たに再演します。

あらすじ

熊本市西郊の金峰山、峠の茶屋。五高の教授夏目金之助と学生らの一団、そして画工が登ってくる。画工は非・人情の世界を求めていた。那古井の温泉で金之助らと一緒にになる。旅館の若おかみは不思議な雰囲気を持った女で、画工はいつしか彼女に魅かれて行くのを感じた。昼間に会った禅寺の和尚が与えた公案に悩む夜、まさに幻想的で奇妙な夢を見る。明治三十一年春。三日間の出来事である。



「草枕」の那美さん 画・半藤一利



公演に寄せて

半藤一利

このお芝居の台本は平成八年、漱石来熊百年を記念し、熊本市のご依頼で書き下ろしたものでした。初演の際には井上ひさしさんに一緒に見ていただき、感想や助言も受けました。漱石記念年プレイベントとして十九年ぶりに再演される運びとなり、そのときの井上さんの助言を生かすことになりました。さらに演出、漱石役の浜畑賢吉さんのご提案で、最初から漱石を登場させます。画工と那美さんが綾なす『草枕』の非人情ならぬ人情模様を漱石自身が探偵よろしく詮索します。舞台だからできる『夢・草枕』の世界です。

小泉八雲の「夏の日の夢」ではあります。しかし、四谷と熊本の舞台に見事、夢幻の花吹雪が舞いますか、どうぞ入るのほどを。



2012年8月 椿山荘での夫婦対談

第18回全国菓子大博覧会
高松宮宣仁親王殿下 評議総賞受賞

熊本の代表銘菓



夢・草枕

峠の茶屋の花吹雪



浜畑賢吉(はまはた・けんきち)

東京生まれ。俳優座養成所を経て、1966年劇団四季入団。1994年四季正劇団からフリーとなり、より幅広い活動を目指す。大阪芸術大学教授・舞台美術学科長。

「アイラブ・坊ちゃん」(音楽座)で漱石役を演じ、熊本でも漱石のひとり芝居を演じた。「新宿くまもと物語 わが青春のムーラン・ルージュ」では森繁久彌役で特別出演。母は熊本県玉名市出身。

制作スタッフ

企画	井上 智重
舞台監督	五島 和幸
舞台美術	吉本 政弘
照明	色川 伸
音響	菊本 明
衣装	小石制作所
小道具	飯富 美雪
化粧	山田 夢子
協力	熊本演劇人協議会 松竹衣装株式会社 株式会社山田かつら 藤浪小道具株式会社

半藤一利(はんとう・かずとし)

昭和5年東京生まれ。東大卒。文藝春秋に入社。「週刊文春」「文藝春秋」編集長、取締役などを経て作家。『漱石先生そな、もし』で新田次郎文学賞、『ノモンハンの夏』で山本七平賞、『昭和史』で毎日出版文化賞特別賞を受賞。この夏、半藤一利原作『日本のいちばん長い日』が二度目の映画化に。妻の半藤末利子さんは漱石の長女筆子と松岡謙との四女、エッセイスト。

キレイのよい甘み
凜とした小豆らしさ



お取り寄せのご案内
【オンラインショップ】
<http://5081.jp>
オンラインショップは24時間受付
5081 検索
【ご注文フリーダイヤル・FAX】
0120-37-5081
月曜～土曜 9時～17時(年末年始を除く)

【白山本店】熊本市中央区白山1-6-31 TEL 096-371-5081